

# 日本パペットセラピー学会(JPTA)からのお知らせ

\* 主な記事：コロナ禍での活動報告・学会第14回大会のご案内・新入会員のご紹介・その他  
2020年6月28日 JPTA事務局 〒158-0083 東京都世田谷区奥沢8-10-7  
メールアドレス info@j-pta.net FAX 03-3702-3097

中国の武漢から流行し始めた新型コロナウイルス感染症は世界中に拡大し、日本においても日常生活に大きな影響を受け3密をさける等、異例の事態が生じております。本学会では、このような事態ゆえに、パペットセラピーを通して、可能な限り多くの皆様に寄り添う活動を展開してまいりたいと考えております。(中下富子)

## ♥コロナウイルスに打ち勝とう !!!

### 日本パペットセラピー学会第14回大会に向けて

日本パペットセラピー学会第14回大会長 千葉俊一

新型コロナウイルス感染症の世界的流行に伴い、日常生活、仕事、パペットセラピーにおける活動等が大きく変化してきている中、私も含めまだまだ気持ちや体がその変化についていけない方も多いことと思います。

そんな中でも、第14回大会が下記内容で開催準備が進められております。理事長はじめ各理事たちも開催ができるかどうかの心配を抱えながらも、大会の充実を願って準備をしております。こんな時期だからこそ、これからはさらなる各地域でのパペットセラピーの催しが求められる時代になるのではないかと考えております。第14回の大会がその起爆剤になればとの願いを込めて、これからはしっかりと開催準備をしてゆきたいと思えます。

今大会では教育講演として、黒田 舞（埼玉県立小児医療センター）先生をお招きし、「子どものためのPFAとTriangulation」と題してご講演いただく予定です。

また、学会理事の先生や今までパペットセラピーを実践されてきた会員の方々にシンポジストとしてご発言いただく企画もしております。また、ポスターセッションの開催も可能かを検討中です。



会期：2020年（令和2年）10月3日（土）フレセミナー

10月4日（日）学会大会

会場：全国心身障害児福祉財団ビル7階大会議室（東京都豊島区南大塚3-43-11 福祉財団ビル）

テーマ：「パペットセラピーの実践を通して得たもの、学んだこと」



学会員のみなさまは日ごろからセラピーとしてのパペットの活用を実践されている方が多いことと思います。その活動を通して素晴らしい成果を得た方もたくさんいらっしゃると思います。しかし中には思うような成果が出ない、継続的に活動する必要性を感じながらも忙しさの中でなかなか継続できない、活動の内容を充実させたいがそのアイデアがまとまらないなど、種々なる問題意識をお持ちの方もいらっしゃるのではないかと思います。そこで、今回は14年間続いた日本パペットセラピー学会の今までの振り返りや今まで活動された方々の体験談やお考えをお聞きし、今後の活動、実践のヒントが得られる場になる大会が提供できればと思っております。大会演者のみならず、多くの会員のお考えやご意見などをお話しいただく機会も持ちながら、当日の大会を進められればと思っております。このことを通して会員相互の理解がさらに深まり、パペットセラピーを通しての社会活動の在り方を考える機会となり、さらなる学会の発展につながればと思えます。

## ♥外出自粛期間の中の腹話術活動 ～二つの気づき～

腹話術師（JVA理事） 安藤倫子

この3月から、国の自粛要請を受け腹話術の講師業は完全ストップし、ボランティア公演も一切できなくなったので、腹話術パフォーマンス動画を自宅で一人で作成してYouTubeにアップすることにしました。ネット用動画の作成は初めてで、またクォリティの高さも必要で緊張し、ひと苦勞でしたが、手探りで技術を習得していく面白さ、動画でしかできない腹話術の表現にチャレンジする楽しさもありました。3月末から2か月間で17本の動画を作成、アップすることになりましたが、その間、視聴者の方々から好評をいただいたことで創作意欲も湧き、動画シリーズの中で新キャラクターも誕生するなど、自分の世界も広がりました。

動画作成を始めた当初は「YouTubeは目の前に観客がいないので、自分のアピールの場にしかないだろう」と決めつけていたのですが、実際には違いました。視聴者とメールやSNSでやり取りする中で、コロナ禍のさなかに腹話術をネットで発信する真の目的は「腹話術で非日常の楽しさを届け、日常で疲れた心を癒す事」だったのだと知りました。



しかし、発見したことはこれだけではありません。実は、動画作成を始めて1ヶ月もすると、同じ空間に観客がいない為に「盛り上げ役は自分しかいない」という状況に、少し疲れてきたのですが、ちょうどそのころ、地域の市民団体が制作する環境教育ビデオに出演することになりました。「腹話術を使って、環境教育の専門家にインタビューし、見る人に楽しく学習してもらおう」という目的の、市からの委託事業です。

シリーズその1は、地域のシンボルである入間川にかかる橋の上で、河原や遠景の山々をバックにし「川の魅力等について」インタビュー。そして、シリーズその2「地域の緑地保全や里山の再生と、クビアカツヤカミキリという特定外来生物について」がテーマで、新緑の薫る森の中でのインタビューでした。



「インタビュー腹話術」という企画の発起人は私だったのですが、これほど楽しい物だとは予想していませんでした。自粛期間に続いた一人っきりの腹話術と全然違い、ナマで人とコミュニケーションをしないと成り立たないので緊張感はそれなりにありましたが、豊かな自然環境の中で気持ちの良い空気を相手と共有している幸せな感覚がありました。（マスクはしてしま

たが！）台本はあっても、会話はほぼ即興で進んでいくので、私は腹話術を「演じ」ながら、人形と一緒に、実際にインタビューをしていくわけです。インタビューされる方々は、腹話術でインタビューされるのは人生初ですが、人形「カンチャン」や「フジコさん」を人間として当然のように受け入れ、大変楽しそうにお話ししてくださり、撮影スタッフもシニアの男性の方々でしたが、撮影中、人形の作るユーモラスな雰囲気のおかげ、皆さんが終始楽しく和やかにしておられました。いわばステージや画面から飛び出して「日常に溶け込んだ腹話術」。この体験のおかげで得た、私の二つ目の気づきは、

「ナマのコミュニケーションの中でこそ、腹話術は威力を発揮する」ということでした。人格を得た人形やパペットのいるのおかげで、非日常の空気がふわりと日常に流れ込み心が自然にゆるみ、お互いが癒やされるのだと思います。腹話術がこの世に誕生した理由は、もしかするとこれかもしれない・・・と思いました。\*上記のYouTube動画はこちら（下記）です。



- ・腹話術師アンディのチャンネル <https://www.youtube.com/channel/UCxJG7ccecL7QulaPkq4fNjg>  
検索ワード「腹話術師アンディ」・「おうちで腹話術あそび」・「腹話術」「ミネフジコさん」
- ・NPO法人さやま環境市民ネットワークのチャンネル  
[https://www.youtube.com/channel/UCX\\_vgB2MN0tCdEnlIWKERmw](https://www.youtube.com/channel/UCX_vgB2MN0tCdEnlIWKERmw)



# ◆オンライン授業によるパペットシアター作り

パペットセラピスト 岡信行

今、私が勤務している学校では、ズームを使って1人30分ずつのオンライン授業を行っているのですが、先日初めて、**パペットシアター作り**に取り組みました。

お相手は3年生のダウン症の女の子。勉強に飽きてくると、黙ってしまったり、他のことを始めたり、パソコンの画面からいなくなったりします。そこで、わたしが、ネズミのソックスパペット「チュー太郎」を登場させて呼びかけると、すぐにパソコンの前に戻ってきました。その子は、以前、私と作ったウサギの「たんぼぼ」という名前のソックスパペットを持っています。一緒に人形劇を作ろうと提案し、テーマを聞くと、その子が選んだテーマは「かくれんぼ」でした。セリフのやりとりをしながら、私がある場で、台本のフォーマットにセリフを入力し、15分ほどで簡単な人形劇が出来上がりました。そして、パソコン画面に、その台本を提示し、それを読みながら、二人で上演練習をしました。オンラインでははじめての試みでしたので、どこまでできるだろうと思って始めましたが、思いのほか、集中して短時間で人形劇を作ることができました。

**パペットシアター作り**は、お話を考えたり、文字を書いたり、読んだりする上で、国語の学習に有効である事は、折々お伝えしてきましたが、何よりも、パペットは、子どもの興味を引き出し、表現や、コミュニケーションの向上につなげることができる点も大きな魅力であることを、改めて感じました。

ちなみに、その日、出来上がった台本は以下のような簡単なもので、その後も、学習のたびに、様々なテーマで、人形劇を作り続けています。



## たんぼぼとチュー太郎のパペットシアター「かくれんぼ」

チュー：たんぼぼちゃん、こんにちは  
たんぼぼ：こんにちは  
チュー：きょうは、なにしておぼろか  
たんぼぼ：かくれんぼ！  
チュー：いいねえ。おには、だれがやる？  
たんぼぼ：ちゅーたくん、やって  
チュー：いいよ。かぞえるよ。  
たんぼぼ：うん！  
チュー：1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, もういいかい  
たんぼぼ：まーだだよ  
チュー：おそいなあ、もーいいかい  
たんぼぼ：もーいいよ  
チュー：よ～し、さがすぞ～ つくえのしたかな？  
たんぼぼ：あたり～

チュー：みーつけ！こんどは、たんぼぼちゃんが、おにだよ  
たんぼぼ：うん、  
チュー：かくれていい？  
たんぼぼ：いいよ。1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10、もーいいかい  
チュー：まーだだよ  
たんぼぼ：おそいなあ。もーいいかい  
チュー：も～いいよ！  
たんぼぼ：せんせいのよこの、かばんの中！  
チュー：あたり～みつかっちゃった！  
たんぼぼ：えへへへ  
チュー：たのしいね。またやる？  
たんぼぼ：うん！  
お・し・ま・い



## ◆新入会員の皆様のご紹介



はじめまして。この度入会させていただきました、茨城県在住の**鯉淵千鶴子**（芸名：**アラレちゃん**）です。私が腹話術を習いはじめたきっかけは、施設に入っている義母に腹話術を見せたら、喜んでもらえるかな？と思ったことからでした。月1回のカルチャー教室でのレッスンはとても楽しく、人形は、くまのプーさんから始まり、自作の人形、からくり人形と次々と増えていきました。初めて義母の施設で演技させていただいた時の義母の嬉しそうな顔は忘れられません。

パペットセラピー学会のことは、腹話術の先生から教えていただき、時々HPを閲覧しておりました。パペットを使つてのコミュニケーションは効果があることは、義母の施設での皆さんの反応で実感していました。それで、もっと理論や実技を見つけ、相手の心に寄り添える腹話術がしたいと思い、入会いたしました。どうぞよろしくお祈りします。

はじめまして。この度、パペットセラピー学会に入会いたしました**野中かおり**と申します。私がパペットセラピーを知ったのは、息子の通う学校の先生からの紹介でした。当時、息子はある事がきっかけで自信をなくし、思春期も重なっているためか、自分の思いを表現しなくなってしまいました。そんな中、原先生にご相談し、パペットセラピーをしていただく中で、徐々に、本来の息子に戻っていく様子を目の当たりにし、パペットセラピーのことをもっと知りたいと思うようになりました。

もともと、子どもの頃からずっと、人の心に関わる仕事がしたいと考えておりましたので、学生時代は、心理学を何度も繰り返し、学んでおりました。現在は、児童指導員として、いくつかの学童に勤務しております。以前、ある学童に勤務した際、直接、目を合わせ会話を拒む児童がいました。その時、たまたま、お人形を介して声をかけてみたら、それに応えてくれたのです。今、思えば、これもパペットセラピーに通じていたらなあと感じます。今後、更にパペットセラピーのことを学び、知識と技術を身につけ、社会に貢献できる一人になりたいと願っております。

初めまして、「歌って踊れる保育士」**鷲村澄子**でございます。人形を使って子どもたちにお話をすると言うことは日常のことですが、「腹話術」との出合いは10年程前。勤務先での「たけとり座」公演です。知らない怪しいおじさんが、大きなお人形相手にお話をするのです。子どもたちは最初不安そうでした。そのうちに、やんちゃな**Aくん**が、おふざけするお猿の人形のことを注意し告げ口したり、自分から話をしない**Bちゃん**が、子羊の人形を見て「かわいい」「お家に連れて帰りたい」と言ったり、子どもも保育者も一緒に笑い、お人形とやり取りをして、楽しく過ごしました。その時の雰囲気はひかれ「たけとり座」に入り、舞台へも上がるようになったのです。演じて行くうちに、自分の腹話術の内容、操作、相手の思い...いろいろな事が気になり始めました。



そんな時、師匠である竹の屋善右衛門氏から「興味があるなら読んでみるか？」と[パペットセラピー]の機関誌を手渡されました。その時私には難しいと感じましたが、<コロナ>です。いつ終わるか気持ちも下がりに下がった時、再び機関誌が目に入りました。[パペットセラピー]との出合いです。なぜ「たけとり座の腹話術」に心ひかれたのか、胸につかえていたものがストーンと落ちたような気持ち良さでした。この出合いを大切にして、皆様と一緒に学びながら、これからも子どもたちの思いに寄り添い元気をもらい、歌って踊って腹話術の出来る保育士を目指して行きたいと思っております。



collective trauma (集団的・集合的トラウマ)

## 海外名誉会員のダニエラ・ハダシーさんからのメールのご紹介

原 美智子 (理事長)

親愛なる 原 美智子 教授

2020年4月9日(木), 10:12 PM

私はいつも通りにはいられなくなっていました。世界は変わってしまいました。私たちは異次元へ移行しました。コロナウイルスの時代へ! この the Corona Virus time の中、いかがお過ごしでしょうか?

イスラエルでは、現在、外出禁止中です。私たちは、もう3週間も家の中にいます。私は田舎に引っ越しました。それで自然に囲まれて癒されています。現在、私は仕事をしていません。なぜなら、医療スタッフには防護服の余分がありませんから。それで、私たち病院の教師やセラピストは自宅待機です。私が作りましたヘブライ語版の初めてのビデオをお送りします。(英語に翻訳できなくてごめんなさい。)でも何かのお役に立つかと思えます。

子どもを支援するための短い動画 <https://www.youtube.com/watch?v=tqmMluFDPH8>

この時期、私は日本の方々とは色々なことをシェアしたいと思っております。私が2011年の震災の後で初めて日本に参りました時、東京でも東北でも多くの日本人の方がマスクをしているのを見ました。たぶん、皆様には普通の習慣でしょうが、街の中で人々がマスクをしているのは異様でした。マスクは病院の中でしか見ませんし、病院の中でしか使いません。でも今は、私の国でも、そして世界中が、みんなマスクをするようになりました。あの震災の時、多くの方が職を失い、恐怖、大きな悲しみ、先の見えない不安を経験された皆様から、今、同じようなことが起きている、このコロナの時代にイスラエルの私たちに何かアドバイスが頂けたらと思います。でもあの時は自然災害でしたが、今回、世界中に起こっているのは、collective trauma (集団的・集合的トラウマ)です。私はこれについて情報を集めています。多くの方が私に助けを求めています。パペットは素晴らしいツールです。私は現在では、ZOOMの機能を使って子ども達とその家族と交流して支援をしています。あなたの活動についてもお聞きしたいです! 第14回のJPTA年次大会に参加しようとしてあれこれ交渉しておりましたが!でも今はすべてが止まってしまっています。何か皆様のお役に立てることがあれば、うれしいです。私たち、そして世界が良い方向へ、そして特別な時代となりますように願っています。

健康と愛を Daniela ダニエラ

### 事務局便り

新年度が始まりました。宜しくお願いたします。このたびの新型コロナウイルス感染拡大により影響を受けた方々には、謹んでお見舞い申し上げます。引き続きコロナ禍の中、お大事になさってご活躍下さい。

○ホームページには、会員の方々にお知らせする内容が順次掲載されますので、定期的に確認をお願いいたします。また、ニュースレターは、画面の「ニュースレター」の枠の中に、機関誌は「会員専用ページ」に掲載されています。

○ホームページの「会員専用ページ」閲覧にはパスワードが必要です。今年度年会費を納付済みの方は、昨年5月、または入会時にお届けしたものが継続して使用できます。紛失された方は事務局にご連絡下さい。すぐに再発行いたします。また、納入期限(4月30日)を過ぎて6月以降にご自分で年会費を納付された方には、新規にパスワードを交付します。

○年会費納付はなるべく口座振替制度をご利用ください。ご自分で納付され方には領収書の郵送はいたしません。納付時の明細書をご確認ください。事務局からの種々の郵送でのお知らせは、今年度の年会費未納の方にはお送りできません。また、当該年度末までに年会費の納付のない方は自然退会となります。ご了承下さい。

○来年度のパペットセラピストの申請受付を開始しました。会員歴5年以上で、いくつかの条件を満たしている方は申請資格がありますので、ホームページの「パペットセラピストの認定制度」の掲載内容をご確認ください。来年5月末日まで、随時受け付けておりますので事務局にご連絡下さい。

○パペットセラピストの方は資格更新にあたり、過去5年間に3回以上の大会参加が条件となっています。